

各位

令和5年2月20日
倉敷市グラウンド・ゴルフ協会
会長 登喜 博厚

「マスク着用」継続 について
～感染症法上2類～5類引き下げを受けて～

岡山県の新規感染者数も2月頃から減少し、倉敷での感染状況も落ち着いてきました。政府は2月10日、新型コロナ対策のマスク着用に関する新たな考え方を決定しました。3月13日から緩和し、原則として着用を推奨することはせず、新たな考え方はマスクについて「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本」とすると明記しました。

ただ、高齢者などへの感染防止の観点から、下記の通り着用の推奨などをする目安も示しました。

- ①医療機関の受信時
- ②医療機関や高齢者施設の従事者や訪問者
- ③通勤ラッシュ時など混雑した電車やバスに乗車する時

したがって、高齢者や基礎疾患がある人は死亡のリスクが高まるのを一人一人が理解し場合に応じてマスクを着用することが大事であります。

「自らの重症化を防ぐ」と、「他人に感染させない」、「グラウンド・ゴルフをみんなで安全に楽しむ」を念頭に置いてプレーを楽しんで頂きたいと思えます。

以上の観点から協会方針としましては、令和5年度も「マスク着用」を継続することで、引き続き感染防止に努めて戴きますようお願い致します。

(補足)

- 1 感染予防チェックリストは廃止とする
- 2.飲料水、お菓子等の食べ物は良いとする
- 3.夏場(7・8・9月)のマスク着用

夏場のマスク着用については、熱中症予防の観点から、「プレー中は一時的に外して(ずらして)もよい」としてはいますが、マスクをずらしている時は、「人と人との距離を1m以上取る」「会話をしない」などを心掛けて下さい。

以上